

調査相談(レファレンス)事例紹介 4



Question

谷崎潤一郎の妻は、前橋出身と聞きました。
どんな方ですか？



Answer

谷崎潤一郎は生涯で3人の妻を娶(めと)りますが、最初の妻である千代という女性が前橋出身です。千代は明治29(1896)年、下宿屋を営む小林家に生まれますが、伯母である石川サダの養女となり、サダが営んでいた芸者置屋「菊小松」の芸者をしていました。大正4(1915)年、千代は芸者を辞め、当時姉の初子夫妻が向島(現墨田区)で営んでいた「嬉野」という料理屋に身を寄せます。そこで「嬉野」の常連であった谷崎と姉を通して出会い、結婚しました。千代は温和で家庭的な女性で、文壇では1・2位を争う美人妻と噂される程の美貌の持ち主だったそう。しかし、陽気・豪傑肌で悪女めいた魅力のあった姉の初子のような女性が好みだった谷崎は、結婚早々不満を漏らしていたようです。

新聞や雑誌を騒がせた佐藤春夫との「小田原事件」「妻譲渡事件」は、千代をめぐる事件でした。この事件は、他の女性との結婚を望んだ谷崎が佐藤へ千代を譲ると言ったものの、その女性に結婚を断られたこと等もあって後日その約束を反故にしたため、谷崎と佐藤は絶縁。最終的に二人は和解し、千代は佐藤と再婚する…というのですが、実は、この“谷崎が結婚を望んだ女性”も前橋出身でした。その女性の名は石川せい子といい、彼女はなんと、千代の妹！せい子はエキゾチックな容姿で、小悪魔的な魅力のあった女性だったそうで、葉山三千子という名で女優として活躍しました。デビューは映画『アマチュア倶楽部』(1920年)で、この映画は谷崎が大正活映という映画会社の脚本部顧問として関わった第一作目でした。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① お千代の兄より(『婦人公論』昭和5年11月号)	小林倉三郎/編		1930	08491508
② 谷崎潤一郎をめぐる人々と着物	中村圭子/著 中川春香/著他	東京美術	2021	13738745
③ 谷崎潤一郎(別冊太陽)	千葉俊二/監修	平凡社	2016	13348909
④ 谷崎潤一郎伝	小谷野敦/著	央公論新社	2006	12643284
⑤ 小田原事件	ゆりはじめ/著	夢工房	2006	12722534

今回ご紹介した他にも調査相談(レファレンス)事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ>調査相談>調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008